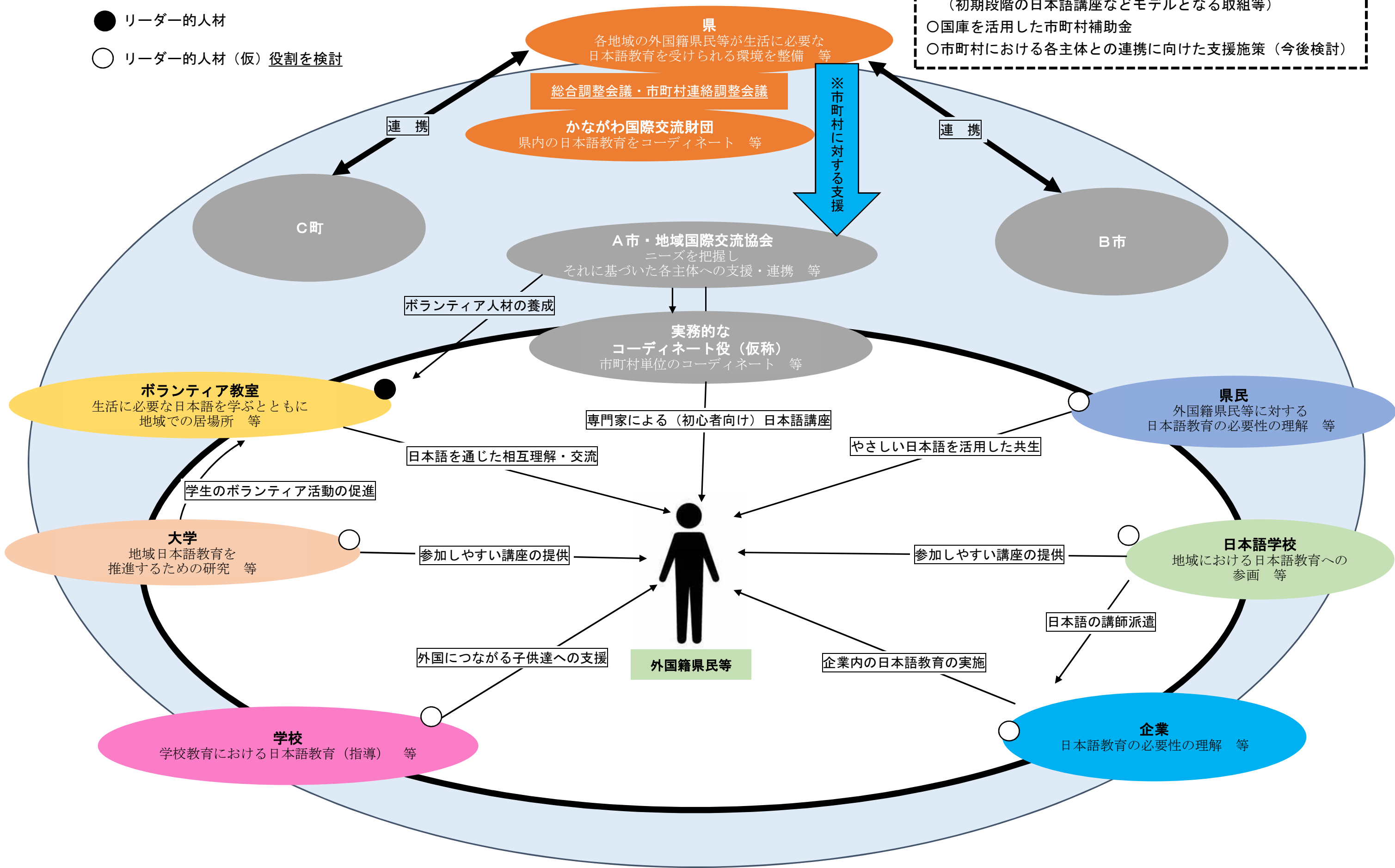


地域日本語教育の総合的な体制の目指す姿（理想像）
 （～各地域において外国籍県民等が安心して生活し活躍できる社会づくりを目指す～）

- リーダー的人材
- リーダー的人材（仮）役割を検討

- ※市町村に対する支援
- モデル事業の実施
（初期段階の日本語講座などモデルとなる取組等）
 - 国庫を活用した市町村補助金
 - 市町村における各主体との連携に向けた支援施策（今後検討）



県
 各地域の外国籍県民等が生活に必要な日本語教育を受けられる環境を整備 等

総合調整会議・市町村連絡調整会議

かながわ国際交流財団
 県内の日本語教育をコーディネート 等

※市町村に対する支援

C町

A市・地域国際交流協会
 ニーズを把握し
 それに基づいた各主体への支援・連携 等

B市

ボランティア人材の養成

**実務的な
 コーディネート役（仮称）**
 市町村単位のコーディネート 等

ボランティア教室
 生活に必要な日本語を学ぶとともに
 地域での居場所 等

専門家による（初心者向け）日本語講座

県民
 外国籍県民等に対する
 日本語教育の必要性の理解 等

日本語を通じた相互理解・交流

やさしい日本語を活用した共生

学生のボランティア活動の促進

参加しやすい講座の提供

参加しやすい講座の提供

大学
 地域日本語教育を
 推進するための研究 等

日本語学校
 地域における日本語教育への
 参画 等

日本語の講師派遣

外国につながる子供達への支援

外国籍県民等

企業内の日本語教育の実施

企業
 日本語教育の必要性の理解 等

学校
 学校教育における日本語教育（指導） 等